

# 弘前大学学報



弘前ねぶたま祭り出陣の様子

第 125 号  
平成26年8月号

**学内ニュース**

○”弘前ねぶたまつり”に連続51回目の出陣	-----	1
○第3回弘前大学COI特別講演会を開催	-----	2
○「教育に関する表彰式」を実施	-----	3
○ダイドードリンコ株式会社との共同研究開始で合意	-----	4
○オープンキャンパスを開催	-----	5
○ボランティアセンターが岩手県野田村で 「宿泊学習会」を開催	-----	6
○文部科学省大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業による 第二回対話型ワークショップを開催	-----	7
○インターンシップを実施	-----	8

**諸会議**

-----	9
-------	---

**人 事**

○新任教授紹介	-----	10
○人事異動	-----	10

**主要日誌**

-----	12
-------	----

**学内規則**

-----	13
-------	----

## ”弘前ねぷたまつり”に連続51回目の出陣

津軽の風物詩「弘前ねぷたまつり」が8月1日から行われ、本学は8月1日、4日の二夜の合同運行に出陣しました。今年は、昭和39年に初めて「弘前ねぷたまつり」に参加して以来、連続51年目の出陣となりました。

運行には、佐藤学長、吉澤理事、加藤理事をはじめ、各理事や各部局長を先頭に教職員、学生、留学生、附属学校園の児童・園児、近隣町会の子供たちなど2日間で延べ約800人が参加し、「ヤーヤドー」の掛け声も勇ましく、夕暮れから約2時間余り市内を練り歩きました。今年は、附属幼稚園創立100周年を記念して、園児約70名が自ら制作した灯籠を持って参加しました。小型ねぷたや灯籠を従えた極彩色の鏡絵「甄姫の宿命（三国志より）」、見送り絵「甄姫」を描いた高さ約7mの勇壮なねぷたは、沿道の市民・観光客から大喝采を浴びました。

また、ねぷたまつり初日の8月1日には、医学部附属病院正面駐車場内において、恒例となっている小児科入院中の子供達や保護者、医師、看護師及び事務職員等による「小型ねぷた」運行が行われ、太鼓と笛の音に合わせて、子供達は「ヤーヤドー」と元気な掛け声を響かせ、津軽の短い夏の夜のひとときを楽しみました。



「甄姫の宿命」を題材とした弘前大学ねぷた



弘前大学役員出陣の様子



手作りの灯籠ほかを持って参加する附属学校園の児童・園児たち



## 第3回弘前大学COI特別講演会を開催

8月4日（月）、大学院医学研究科基礎大講堂において、東北大学COI拠点プロジェクトリーダー（株式会社東芝 ライフサイエンス部 部長）高山 卓三 氏を講師にお招きし、「東北大学のCOI戦略～さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が導くモチベーション向上社会の創生～」と題した特別講演会を開催しました。本講演会は、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択された、本学と企業及び自治体等で組織する「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発（略称：革新的「健やか力」創造拠点）」をテーマとした研究拠点の活動を推進するにあたり、更なる知見を深めることを目的に実施し、今回が3回目の開催となります。

講演会では、東北大学COI拠点が描く10年後の家族の日常風景を切り口に、日常生活に溶け込んで健康情報を計測する超小型で高性能な飲みこみセンサーや個人の生涯にわたる健康・疾病履歴データ（PHR:Personal Health Record）を管理するヘルスケアクラウドなどの事業紹介がありました。

当日は約80名の一般の方、学生や教職員、企業等関係者が聴講し、講演会終了後にも高山氏に個別に質問を行い、熱心に意見交換がされていました。

なお、今後、本拠点では東北大学COI拠点とゲノム解析を始めとして拠点間の連携を強化し、COI事業を展開する予定です。



東北大学 高山氏による講演



中路研究リーダーによる挨拶



質問する聴講者の様子



熱心に聞き入る参加者

## 「教育に関する表彰式」を実施

前年度において優秀な成績を修めた学生及び教育に関して優れた業績を上げた教員を対象として、8月5日（火）に事務局大会議室で表彰式を実施しました。

今回の受賞者は、各学部等から推薦された学生26名、教員7名で、表彰式には、伊藤理事（教育担当）及び各学部長・研究科長並びに医学部附属病院長も出席し、佐藤学長から一人ひとりに表彰状と副賞が贈呈されました。

これを受けて、学生を代表して農学生命科学部2年の本多里奈さんから、教員を代表して医学研究科の大山力教授から謝辞が述べられ、表彰式は和やかなうちに終了しました。



佐藤学長（前列左から5人目）と表彰学生



佐藤学長（前列左から4人目）と表彰教員

## ダイドードリンク株式会社との共同研究開始で合意

本学とダイドードリンク株式会社は、機能性素材である「プロテオグリカン」（PG）の価値を多くの方々に知っていただくとともにその更なる可能性を研究することを目的として、共同研究を行うこととなり、8月6日（水）に共同記者会見を開催しました。

当日は、本学から柏倉研究担当理事、大学院医学研究科の中根教授、ダイドードリンクからは長谷川ヘルスケア事業部長が出席し、会見を行いました。

会見において、本学からは、1998年に“氷頭なます”をヒントに、酢酸を使ったサケ鼻軟骨からのPG抽出の研究を始めたこと、その後、地元企業との共同研究により量産化に成功し、数多くの健康食品や化粧品が開発販売され、研究成果としてPGが広く認知されることとなったこと、そして2013年には文部科学省の補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」に採択されるなど、機能性素材としての可能性を大いに期待されていることが説明されました。

また、ダイドードリンクからは、地域との共存共栄を基本理念に、これまで青森県や本学、地元企業など多くの関係者の協力によりPG活用商品を開発し、2013年末に発売を開始して好評を得ていること、さらに、新たに同素材を活用した美容系の健康食品を発売することとなったこと、加えて、今回の共同研究では主に「抗酸化・アンチエイジング」、「免疫調節作用（抗アレルギー）」、「抗肥満作用」の3つのテーマを予定しており、将来的には新商品の開発や特許申請等へと展開し、PGの魅力をさらに高めていきたいと考えていること、8月25日には美容ゼリーなどを発売すること等が説明されました。



長谷川事業部長（右）、柏倉理事（中央）、中根教授（左）による握手の様子



柏倉理事による挨拶

## オープンキャンパスを開催

8月8日（金）、「弘前大学オープンキャンパス」を開催しました。あいにくの小雨模様ながら県内外の高校生や引率の教員など、6,292名が参加しました。

各学部等では、模擬講義、実験・実習体験、研究室解放、学部長や在学生と語るコーナー等多彩な企画を準備しており、参加者は教員や学生の話をも熱心に聞き、本学の雰囲気を肌で感じとっていました。

また、キャンパス内の歴史的な建物や各学部を紹介するキャンパスツアーを実施、総合相談コーナーでは、高校生や保護者の関心が高い入学試験、奨学金、学生寮、就職状況等の情報について担当者が個別にわかりやすく説明を行い、好評を得ました。



小雨の中受付開始の様子



人文学部の実習室公開の様子



医学部医学科での全体説明



在学生による歓迎の様子

## ボランティアセンターが岩手県野田村で 「宿泊学習会」を開催

ボランティアセンターでは、公益財団法人大和証券福祉財団「第4回災害時ボランティア活動助成」の支援を受け、去る8月11日（月）、12日（火）に岩手県野田村において「野田村宿泊学習会」を開催しました。

当センターでは、東日本大震災発生後の平成23年4月から、弘前市及び弘前市民らと「チーム・オール弘前」を形成し、毎月岩手県野田村に出向きボランティア活動を行ってきており、野田村の子ども達からの「より長い時間を大学生と過ごし、楽しい思い出をたくさん作りたい」という声に応えて、昨年度から宿泊学習会を開催しています。

宿泊学習会には、副センター長の人文学部李永俊教授と学生9名、インストラクターの講師1名の11名が野田村へ向かい、野田村の子ども達22名の計33名が参加しました。

第1日目は、オリエンテーションやライトアップ・ニッポン（花火打ち上げ企画）のイベント参加を通じて学生らは子ども達との交流を深め、その後共に宿泊しました。第2日目は、「野田村の良さを再発見する」をテーマに、野田村の伝統的な地場産業である塩作りや豆腐作り、ホタテ作りを体験し、野田村の地場産業の可能性を全員で考える体験型ワークショップを行いました。学生と子ども達は、塩作り班・豆腐作り班・ホタテ班に分かれて体験学習を行い、それぞれの体験をポスターにとりまとめ、プレゼンテーションを行いました。

参加した学生からは2日間とても楽しかったという感想が多く寄せられ、野田村の子ども達からは、また来て欲しいとの声が聞かれ、大学生との交流をととても喜んでいました。

参加した李副センター長は、野田村の子ども達と学生が笑顔で交流できたことが何よりもうれしいことだったと振り返りました。



体験学習の様子（塩作り体験）



ライトアップ・ニッポンの遊び広場



発表会の様子



最後の記念撮影

## 文部科学省大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業による 第二回対話型ワークショップを開催

8月25日（月）、弘前市土手町の土手町コミュニティパークにおいて、第2回対話型ワークショップを開催しました。これは本学が平成25年度に採択された文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」の事業の一環として、昨年度の第1回に引き続き実施したものです。

今回は『さあ皆で健康の未来を考えよう～ヒトはみんなクリエイティブだ！』をテーマに掲げ、大学関係者のみならず、企業や行政、健康に関心のある一般市民など、約50名が参加しました。

当日は、COIプログラムの研究リーダーである中路 重之 大学院医学研究科長の挨拶の後、健康を大事と考えて行動できる人（＝健康寿命人）になってもらうために、私たちができること、したいことについて、それぞれグループに分かれてアイデアを出し合いました。特に、デザイン思考による想像力を高める各種ツールを活用して、健康長寿を目指す未来シナリオを、発表・上演するなど、「笑い」と「感動」にあふれた、非常に有意義なワークショップとなりました。

今後も本拠点では継続的にワークショップを開催し、COIプログラムの社会実装を見据えた、新たなシーズ・ニーズの発掘に向けた活動を展開していきます。



議論する参加者



発表する参加者

## インターンシップを実施

8月26日（月）から30日（金）まで、本学でインターンシップを実施しました。

このインターンシップは、学生に本学での実務を体験させることで、自主的な職業選択能力や高い職業意識の育成に寄与することを目的としており、平成18年度からインターンシップの学生を受け入れています。今年度は5名の学生が参加し、学生は総務部、財務部、学務部、施設環境部、研究推進部にそれぞれ配属され、大学に関する業務を体験しました。

皆緊張した面持ちながらも真剣に業務に取り組み、時には職員の方々と談笑する姿も見られ、和やかな空気の中実務体験を行っていました。参加した学生にとって、職業意識を向上させ、学生自身の将来像を明確なものとする、実り多い実習となりました。



各部署で就業体験をする学生たち

---

## ■ 諸 会 議

8 月中に開催された諸会議はありませんでした。

## 新任教授紹介

【平成26年8月1日発令】



医学研究科  
マツバラ アツシ  
松原 篤  
昇任

## 人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年8月1日		金 澤 伸 江	講師 (COI) [H28. 3. 31まで]
平成26年8月1日		青 木 哉 志	助教 (病院) [H31. 7. 31まで]

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年8月1日		大 山 力	教授 (医) [H36. 7. 31まで]
平成26年8月1日		鬼 島 宏	教授 (医) [H36. 7. 31まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年8月1日	准教授 (医)	松 原 篤	教授 (医) [H36. 7. 31まで]
平成26年8月1日	助手 (医)	古 川 智 範	助教 (医) [H31. 7. 31まで]

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年8月1日	教授 (医)	大 山 力	教授 (医・先進移植再生医学講座) [H27. 9. 30まで] 医学部附属病院病院長補佐 [H28. 3. 31まで]
平成26年8月1日	教授 (医)	松 原 篤	医学部附属病院耳鼻咽喉科科長

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年8月1日	一般職員(財務・予企室)	島田 裕介	休職延長 [H26. 9. 30まで]
平成26年8月1日	准教授(国際教育セ)	小山 宣子	休職延長 [H26. 8. 31まで]
平成26年8月31日	主任(研推・学情)	熊谷 千賀子	休職開始 [H26. 9. 25まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H26年08月08日	看護師(病院・看護)	木村 亜希奈	育児休業開始 [H28. 3. 31まで]
H26年08月19日	教諭(教育・特支)	安田 真由美	職務復帰
H26年08月31日	一般職員(学務・就)	小枝 明香	育児休業開始 [H27. 7. 31まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年8月10日	助教(医)	吉川 朋成	辞職
平成26年8月10日	助手(病院)	菊池 潤	辞職
平成26年8月18日	看護師(病院・看護)	山中 美里	辞職
平成26年8月31日	係長(医)	森 幸彦	辞職
平成26年8月31日	臨床工学技士(病院・医技)	鈴木 雄太	辞職

---

## ■ 主要日誌

- 8月1日 ねぶた出陣式  
ねぶた参加日
- 4日 ねぶた参加日  
第3回弘前大学 COI 特別講演会
- 5日 教育に関する表彰式
- 6日 ダイードリンコ株式会社との共同研究開始で合意
- 8日 オープンキャンパス
- 13日 夏季一斉休業（～15日）
- 25日 文部科学省大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業による  
第二回対話型ワークショップ
- 26日 インターンシップ受入（～30日）

---

## ■ 学内規則

8月中旬に改正された規則等はありませんでした。

弘前大学学報第125号

弘前大学総務部広報・国際課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172) 36-2111